

第1号議案

平成28年度事業報告及び収支決算について

1 平成28年度事業報告について

第33事業年度

（ 自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日 ）

当財団は、県内企業の総合的支援機関として、新産業創出や経営革新への支援、産業技術の高度化や科学技術の振興、産学官の共同開発研究への支援などに取り組んでいる。

平成28年度は既存の取り組みに加え、地場産品等のPRにも積極的に取り組んだ他、機能性表示食品届出支援に取り組んだ。

※各事業右記載の金額は、経常費用の額である。

公益目的事業

I 新産業の創出や地域産業の革新、地域企業の経営基盤強化のための相談・指導、情報提供、助成及び資金貸付等の事業

決算額

1. 新事業創出等支援事業

11,893千円

県内企業の新事業の創出や経営革新などを積極的に推進するため、本県の中核的支援機関として各支援機関と連携を取りながら、研究開発から事業化、販路開拓に至るまでの総合的な支援を実施した。

相談事業	専門家による窓口相談や巡回相談などにより、中小企業の経営力の向上（経営革新・農商工連携・地域資源活用・販路開拓・経営改善等）、創業・再チャレンジ、事業承継等の課題に対する指導助言を行うとともに、企業ニーズの把握や事業化シーズの発掘等に努めた。なお、「認定支援機関」として、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の計画作りを支援し、国の補助金申請のための確認書発行業務を行った。	1,360件
専門家派遣事業	地域の支援機関の要請等に基づき専門家を派遣し、中小企業の高度・専門的な経営課題の解決を図った。	3企業
支援体制整備事業	地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催した。（平成28年5月25日）	1回

さぬき市中小企業等 経営支援相談事業	さぬき市から同市内の商工業者などを対象とした経営革新等に関する相談業務を受託し、相談日に専門家を派遣した。	6回
-----------------------	---	----

2. 創業促進事業（国委）

118千円

平成26年度～平成27年度、起業・創業、第二創業を行う者に対して、経費の一部を補助する事業を行った。その補助事業者に対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構から委託を受け、フォローアップを行った。

3. 新規創業・創業後支援事業（ふるさと創業支援事業）

2,956千円

（1）創業支援塾事業（県委）

県内での創業を目指す者を対象に、創業に当たっての実務ポイントを体系的かつ体系的に学習でき、かつ具体的なビジネスプランが策定できるよう、実践的な創業支援塾を開講することにより、創業の促進を図った。

かがわ創業塾

日時	受講者
平成28年6月29日～7月27日 (毎週水曜日、全5回) 13時～17時	34名（うち全課程修了者24名）

（2）創業後セミナー・創業事例発表会開催事業（県補）

創業後間もない方を対象に、税務申告時期などにタイムリーなセミナーを開催するとともに、創業の成功事例の発表の機会や情報交換の機会を設けるなど、ネットワークづくりを促進し、廃業の抑止等につなげた。

① 創業後セミナー

日付	内容	講師
11月28日	危機管理	筒井 恵
12月 5日	経営分析、資金調達	岡本 正雄
12月 8日	経営戦略、経営管理	川上 実
12月14日	広報、宣伝	仁田 春奈

② 創業シンポジウム

日時 平成29年1月20日(金)13時～16時40分

場所 香川産業頭脳化センタービル2階一般会議室

(1)特別講演

講師 北極しろくま堂有限会社 取締役 園田正世氏

内容 『ブランディングで小さな会社をコツコツ続ける』

～きらりをみつける！売れる仕組みづくり～

(2)事例発表

①発表者：株式会社 禾 代表取締役 中條 淳子 氏

テーマ：「分けっこできる、よろこびを」～食物アレルギー対応のおこめのおやつ」

②発表者：Ristorante FURYU（リ스토랑テ フリュウ）オーナーシェフ 渋谷 信人 氏

テーマ：「田舎で起業するリスクとチャンス」

③発表者：ナッシュ ファニチャークラフツメン 代表 中岡 義仁 氏

テーマ：「もっと身近なオーダーメイド家具」

(3)パネルディスカッション

- ①北極しろくま堂有限会社 取締役 園田 正世 氏
- ②株式会社 禾 代表取締役 中條 淳子 氏
- ③Ristorante FURYU (リストランテ フリュウ) オーナーシェフ 渋谷 信人 氏
- ④ナッシュ ファニチャークラフトズメン 代表 中岡 義仁 氏
- ⑤中小企業診断士 梅澤 秀樹 氏

4. 新規創業融資計画策定支援等事業（ふるさと創業支援事業）（県委） 3,125千円

香川県から委託を受け、香川県中小企業振興融資制度のうち、「新規創業融資（開業プランサポートタイプ）」にかかる融資申込者に対する新規創業計画の作成の支援並びに創業者を現場訪問し、事業者が抱えている課題等を調査し、創業期の事業者を支援した。

新規創業計画の策定支援等 新規創業融資計画作成支援業務担当専門相談員として1名を雇用し（月12日程度勤務）、新規創業計画の作成支援並びに創業期の事業者支援を行う。	延べ相談回数 37回 計画書作成支援件数 6件
--	----------------------------------

5. 創業・第二創業促進支援事業（県委）[新規] 258千円

県内で創業や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助することにより、新たなビジネスや雇用の創出などを促し、地域の経済の活性化を図ることを目的とする。
補助申請の受付、一次審査事務運営等を県から受託した。

○申請受付 8件 ○一次審査 8件

6. 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点）（国委）

55,424千円

中小企業・小規模事業者への支援体制を強化するため、「香川県よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名と10名のコーディネーターを配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイス、個別事案に最適な支援チームの編成などによる中小企業支援事業を国から委託を受け実施した。

7. 農業の6次産業化等促進事業（県委） 3,356千円

県から委託を受け、県内の農林水産業の6次産業化にむけた取り組みを支援するため、「かがわ6次産業化推進センター相談窓口」を運用する。農林水産業者等へのサポート活動として、6次産業化プランナーの派遣やセミナー等を開催し、すでに実践する農林漁業者のフォローアップや志向する農林漁業者等に対して個別指導や助言を実施した。

- (1) かがわ6次産業化推進センター相談窓口を設置、専任プランナーを委嘱
専任プランナー2名を委嘱
- (2) 総合事業化計画認定事業者のフォローアップ
相談件数等 10件
- (3) 6次産業化事業相談
相談件数 41件
- (4) かがわ農商工連携・6次産業化ビジネス交流フェアの開催
○開催時期：平成28年10月27日
○開催場所：綾歌総合文化会館 アイレックス

○開催内容：農林漁業者と中小企業者との異業種交流会、ビジネスマッチング、各種相談会（6次産業化、食品表示、機能性食品、食品加工技術等）、商品サンプル撮影会等を実施。

○参加者数：交流会参加事業者 72社

（5）6次産業化ステップアップ塾の開催

6次産業化に意欲的に取り組み、実践できる人材を育成するため、ビジネスプランの作成、マーケティング、食品安全、商品開発等6次産業ビジネスに必要な知識習得のための連続セミナーを開催した。

① 基礎編

開催日 場 所	内 容	参加人数
9月10日 高松国際H	①「6次産業化概論」 ②「事業コンセプトづくり」 ③「地域内外でのチームづくり」 講師：(有)高巳投資 取締役 高野 克三氏	19
10月1日 高松国際H	①「事業コンセプトづくり～経営の視点から～」 講師：中小企業診断士 梅澤 秀樹 氏 ②「6次産業化と食品安全」 講師：モーションマインド代表 安並 信治 氏	22
10月15日 高松国際H	①「流通のしくみ ～価格形成の視点から～」 講師：和（なごみ） 島本 一仁 氏 ②「売場を見据えた商品づくり ～『いいもの』から『買いたくなるいいもの』へ～」 講師：(有)良品工房 白田 さやか 氏	18

② 販売実習

○開催日・場所

- ・平成28年10月29日・30日 府中湖パーキングエリア
- ・平成28年11月3日・20日 津田の松原サービスエリア

○参加事業者：6事業者

③ 実践編

首都圏バイヤーの視点による、売り場が求める差別化された商品開発に取り組む人材を育成するための実践的なセミナーを開催した。

○講 師：(株)日本百貨店 執行役員・新規事業開発室室長 佃 真光 氏

○開 催 日：平成28年11月29日・30日・平成29年2月21日

○開催場所：香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室 他

○参加事業者：7事業者

- ・講演（11月30日）

演題「東京の小売店と商売をするということ。」

－全員参加型ニッポンハッカテン－

8. ものづくり中国進出企業上海商談会開催事業（県補）

621千円

中国に進出している本県ものづくり系企業との新規取引の開拓と受注機会の拡大を図る

ため、同国に進出している大手日系ものづくり系企業とのマッチング商談会を開催した。

日 時：平成29年2月22日（水）13：00～17：00

場 所：オークラガーデンホテル上海（中国・上海市）

商談方式：事前予約制の個別面談

参加企業：（発注）日系大手企業11社（受注）中国に製造拠点をもつ県内企業9社

商談件数：24件（見積依頼1件、図面検討依頼4件、相互訪問2件、その他17件）

9. 地場産品等PR・ブランド化事業

5,995千円

（1）地場産品等ブランド化ものづくり支援事業（県委）【新規】

4,995千円

消費者ニーズを取り入れた新商品の開発やブランド化に取り組む事業者を支援するため、商品づくりのポイントやデザイン、販売戦略の手法等を習得するセミナーの開催、地元専門家による開発商品のブラッシュアップ、展示会参加や試験販売を行った。

（2）かがわ地場産品ビジネスチャンス事業（県委）【新規】

1,000千円

香川県内地場産業を対象とした商談会（ビジネスマッチング）を開催することで、大都市圏に広がる発注ニーズや案件を県内企業に紹介し、広域的かつ継続的な受注機会の創出を図った。

10. 知財総合支援窓口運営業務（国請負）

29,130千円

中小企業等の知的財産マインドの向上や知的財産の活用を促進するため、「知財総合支援窓口」を設置・運営し、配置した知財の専門知識を有する窓口支援担当者等と知財専門家（弁理士・弁護士）が、協働して中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決できる相談・支援を行うとともに、企業経営の中でノウハウも含めた知的財産活動をアイデア段階から事業展開まで一貫した支援を行うほか、県内各地でセミナーを開催するなど、知的財産の重要性等の普及啓発を行った。

（1）相談件数等

項 目	内 容 等	実績
相談件数	支援窓口での知的財産に関する相談件数（相談者数）	1,263件 (1,556人)
うち新規相談件数	支援窓口での知的財産に関する新規相談件数	142件
知財専門家活用件数	支援窓口での知財専門家（弁理士、弁護士）を活用した相談件数	184件
訪問指導件数	支援窓口から訪問して指導した件数	149件
訪問企業数	支援窓口の普及啓発のために訪問した企業数	100社

（2）知的財産セミナー

	開催日	開催場所	テーマ	講師等	受講者数
第1回	平成28年12月17日（土）	高松市	無理をしないデザインの取り入れ方	レガート知財事務所 峯 唯夫 氏	11名

第2回	平成29年1月 25日(水)	三豊市	中小企業の知財戦略	インクタンク・ジャパン株式会社 代表取締役社長 塚越 雅信 氏	20名
第3回	平成29年2月 9日(木)	東かがわ市	海外ビジネスで考慮すべき知財問題	黒瀬 IP マネジメント 黒瀬 雅志 氏	14名
第4回	平成29年2月 21日(火)	小豆島町	地域ブランドの発掘・認知度向上	株式会社ブランド総合研究所 田中 章雄 氏	32名
第5回	平成29年2月 23日(木)	丸亀市	営業秘密管理・技術流出リスクのマネジメント	独立行政法人工業所有権情報・研修館 知的財産戦略アドバイザー 古田 恵夫 氏	12名
第6回	平成29年3月 8日(水)	三豊市	地理的表示法と地域団体商標	えるだ法律特許事務所 大久保 秀人 氏	18名
第7回	平成29年3月 21日(火)	小豆島町	ビジネスでの知財の活用	一般財団法人知的資産活用センター 理事・事務局長 吉栖 康浩 氏	14名

11. 知的財産活性化事業（県補）

5,784千円

県内企業等の知的財産の創造・保護を促進するため、「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、配置した知的財産権制度の普及を図る知的財産コーディネーターが、知的財産に関する情報収集・提供を行うとともに、県内企業等への相談や訪問相談を行うほか、入門講座や出前講座を開催するなど、普及啓発、広報活動等を行った。

（1）企業、高等学校向け知的財産出前講座

テーマ	対象企業等	開催日時	受講者数
知的財産権（特許・著作権・アイデア創出）	三豊工業高校	平成28年11月11日（金）	332名

（2）知的財産権制度入門講座

テーマ	開催日	受講者数
1 知的財産権制度について（概要）	平成28年5月25日（水）	19名
2 特許・実用新案の出願から取得まで	平成28年6月8日（水）	13名
3 意匠・商標の出願から取得まで、各種支援策の案内	平成28年6月22日（水）	13名
4 特許・実用新案の検索実習・演習	平成28年7月6日（水）	9名
5 意匠・商標の検索実習・演習	平成28年7月20日（水）	13名
6 外国（台湾・中国）商標の検索実習・演習	平成28年8月4日（水）	7名

12. 知的財産活用促進事業（県補）**4,800千円**

県内企業等の知的財産の活用による競争力強化を促進するため、「香川県知的所有権センター」が、知的財産を活用した経営や新たな事業展開に取り組む県内企業等の経営者等を対象に、日本弁理士会や日本貿易振興機構（JETRO）と連携した知財セミナーを3回、かがわ知財経営塾を5回開催するなど、きめ細かな支援を行った。

（1）知財セミナー

開催日	テーマ	講師	受講者数
平成28年11月9日（水）	知らなかった！事業を勝たせるこんなやり方（特許）	特許業務法人山内特許事務所 所長 山内 康伸 氏	26名
平成28年12月7日（水）	知らなかった！事業と信用を守るこんなやり方（商標）	特許業務法人山内特許事務所 所長 山内 康伸 氏	24名
平成29年1月26日（木）	中国・ASEANにおける模倣事情と効果的な知財対策	日本貿易振興機構（JETRO）知的財産・イノベーション部 知的財産課 高村 大輔 氏	34名

（2）かがわ知財経営塾

	開催日	テーマ	講師	受講者数
第1回	平成28年10月25日（火）	「下町ロケット」に学ぶ中小企業の知財・経営戦略	弁護士法人 内田・鮫島法律事務所 鮫島 正洋 氏	76名
第2回	平成28年11月7日（月）	中小企業の経営に役立つ知財経営概論～経営と直結した知財活動のあり方～	インクタンク・ジャパン株式会社 代表取締役社長 塚越 雅信 氏	17名
第3回	平成28年11月21日（月）	商標とブランド戦略	一般財団法人知的資産活用センター 理事・事務局長 吉栖 康浩 氏	15名
第4回	平成28年12月2日（金）	ワークショップ：中小企業における知財戦略入門	一般財団法人知的資産活用センター 理事・事務局長 吉栖 康浩 氏	14名
第5回	平成28年12月12日（月）	パネルディスカッション：知恵を換価するメカニズム～儲けるための知財経営～	・インクタンク・ジャパン株式会社 代表取締役社長 塚越 雅信 氏 ・一般財団法人知的資産活用センター 理事・事務局長 吉栖 康浩 氏	12名

13. 中小企業等外国出願支援事業（国補）**3,983千円**

中小企業等における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等を対象に、平成28年6月～11月の間に3回募集し、8社、13件（特許6件、商標7件）に対して、外国への特許出願等に要する費用の一部を助成した。

14. プロフェッショナル人材戦略拠点事業（県委）**29,985千円**

プロフェッショナル人材（新たな商品、サービスの開発等、企業の成長戦略を具現化していく人材）の地方還流を促すために設置される「プロフェッショナル人材戦略拠点」として、戦略マネージャー1名と複数のサブマネージャー及びアシスタントを配置し、地域の金融機関等と連携しつつ、地域の中堅中小企業におけるプロフェッショナル人材のニーズを把握し、企業の成長戦略を支援していく事業を、県から委託を受け実施した。

15. 経済研究情報事業**10,802千円**

インターネットや情報誌等を活用した産業情報の提供を行ったほか、企業の情報化を支援するための情報化相談事業、人材育成のための新入社員研修を実施した。

また、独創的なビジネスプランで新規創業しようとする企業や独自のビジネスモデルを構築した企業を表彰した。

（1）経済研究情報提供事業

インターネットや情報誌等による産業情報の提供を行った。

内 容	回 数 等
財団ホームページやメールマガジンによる情報発信	常時
情報誌「かがわ産業情報21」の発行	4回

（2）かがわ型新ビジネスモデル奨励事業

創造的な技術や商品、サービスなどを新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、斬新的なビジネスプランと、独自のビジネスプランを樹立し成功した先進的モデルを募集・表彰した。

① かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2016

・応募総数29件

・特典：300万円の助成金、インキュベーション施設の無料提供、特別低利融資

	ビジネスプラン	事業者
最優秀賞	糖尿病大国・香川県民の健康と幸せに資する低糖質食品の開発・販売	齊藤眞理 (Low carb moooco)
優秀賞	希少糖の新規市場開拓促進に伴う商品開発のための市場調査	(株)レアスウィートコスメ
優秀賞	下水道汚泥の発酵・乾燥による新しいセメント燃料化方法の提供	(株)森づくり

② かがわ発！先進的ビジネスモデル2016

・応募総数4件

・賞状と盾・記念品の授与

	ビジネスモデル	事業者
大 賞	エコアートプロジェクト	hacomo(株)
優秀賞	農業者自ら生産・流通・販売体制を構築する香川型『儲かる農業』	高橋光男 (讃岐富士農産)
優秀賞	次世代向け義肢装具企業向け見積・売上管理パッケージ企画開発	ケイ・タス(株)

(3) 情報化基盤整備促進事業

地元中小企業の情報化に向けた取組みを支援するため、情報化に関する相談事業を実施した。

内 容	回 数 等
情報化相談事業	47件

(4) 講習会開催事業

香川の産業高度化を支援するための人材育成事業として、新入社員研修を実施した。

講 習 会 名	開 催 日	参加人数
新入社員研修	平成28年4月4日～5日	19名

16. 中小企業後継者育成事業

613千円

中小企業後継者育成のため、次の事業に対して助成等を行った。

区 分	件数等	金 額
中小企業大学校派遣研修事業（個人）	2人	66千円
先進企業経営技術・研究機関等研修事業（個人）	2人	536千円
香川大学大学院地域マネジメント研究科への派遣研修		
計	4人	602千円

17. 設備資金貸付事業

502千円

過年度貸付の回収業務及び事後助言業務等を行った。

18. 設備貸与事業

39,367千円

過年度貸与（割賦販売及びリース）の回収業務等を行った。

II 産業技術の高度化及び科学技術の振興のための支援事業

1. 高度技術開発振興事業

13,047千円

(1) 研修会等開催支援事業

県内産業の技術の高度化を図るため、学術研究支援や人材・能力育成支援を実施した。

区 分	開催回数	参加者数
学術研究会の開催支援	3回	290名
第24回かがわけん科学体験フェスティバル (主催：かがわけん科学体験フェスティバル実行委員会等)	1回	3,100名

(2) 商品化技術テーマ調査事業

大学・高専・公設試等が保有する技術資源を活用して新たな商品開発を行おうとする県内企業等に対し、商品化・事業化の可能性についての調査研究に要する経費を助成した。

平成28年度採択分【新規4件、助成額5,000千円】

事業者	テーマ	学術研究機関
(有)アイヴェモーション	炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の運輸産業用途への商品化研究	香川県産業技術センターほか
大平水産㈱	オリーブ葉を活用した高品質「釜揚げいかなご」「釜揚げちりめん」の商品開発に関する調査研究	香川県産業技術センター 発酵食品研究所
ケイ・タス㈱	業界初 個人義肢装具士向けクラウド型見積・売上管理システムの企画研究開発	広島国際大学 総合リハビリテーション学部
香川県酒造組合	香川県内オリーブからの酵母分離とその酒造特性に関する予備調査	香川県産業技術センター 発酵食品研究所

（３）芦原研究支援事業

本県出身の故芦原義重氏（関西電力㈱名誉会長、香川県名誉県民）からの寄附金による基金を活用して創設した芦原科学賞により、県内産業の技術の高度化及び産業振興に寄与するため、自然科学系分野において優秀な研究成果をあげた研究グループや個人の顕彰（大賞、功労賞）並びに優秀な成果をあげることが期待できる研究グループや個人の顕彰（奨励賞）を行った。

芦原科学大賞 （賞状・楯・賞金２００万円）	受賞者：株式会社マキタ 船用エンジンの品質・生産効率向上プロジェクトチーム （須浪 壽氏はじめ ５名） テーマ：船用エンジンの世界最高水準の品質と生産効率達成技術の開発
芦原科学功労賞 （賞状・楯・賞金１００万円）	受賞者：香川県農業試験場 藤田究氏はじめ ６名 本場さぬきうどん協同組合 大峯 茂樹 氏 香川県製粉製麺協同組合 木下 敬三 氏 テーマ：さぬきうどん用小麦品種「さぬきの夢２００９」の育成
芦原科学奨励賞 （賞状・楯・賞金５０万円）	受賞者：株式会社ADSムラカミ 村上 康裕 氏 テーマ：油圧・空圧・電気の弱点を克服した新駆動技術（ADS）を応用した、水圧システム導入の入浴装置および各用途向け水圧シリンダの開発・製造

（４）地域技術事業化推進事業

① 次世代自動車関連技術開発研究会

県内中小企業が、技術革新の進展に即応した技術を製品の開発や生産等に活用して事業化を図る取組みを支援するため、今後の有望分野である次世代自動車分野に関する情報交換・情報発信や関連技術の習得、人材育成に資する事業として、研究会の運営を実施した。

区 分	内 容 等
第１０回 次世代自動車関連 技術開発研究会	○開催日等 日時：平成２８年１２月９日（金） 場所：頭脳化センタービル一般研修室 他 ○基調講演 「運転支援システムアイサイトと自動運転技術の開発と展望」

	富士重工業株式会社 スバル第一技術本部 先進安全設計部 部長 関口 守 氏 ○事例紹介 「自動車用 CVT 変速機エレメント高速整列装置の開発」 株式会社セリックス 代表取締役 泉保 壽雄 氏 「T S 1 6 9 4 9 に則った「ものづくり」」 葵機工株式会社 代表取締役専務 大西 昭 氏 ○見学会 SUBARU「アイサイト」搭載車 実車試乗見学 ○参加者数 4 8 名
--	--

② 香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携

香川大学大学院地域マネジメント研究科（MBA）と連携して、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による授業科目「地域の中小企業と経済活性化」を地域マネジメント研究科における提供講座として開設した。また、県内企業支援方策の検討に資する基礎調査・研究（地域企業と地域経済動向に関するもの）を共同で実施した。

名 称	内 容 等
提供講座 「地域の中小企業と経済活性化」	○開催日時 平成 2 8 年 1 0 月 4 日～平成 2 9 年 2 月 1 4 日の火曜日（全 1 5 回） ○場所 香川大学又信記念館 ○内容 提供講座の開設（中小企業経営者等による 1 5 講座の開設） ○参加者 学生、一般聴講者合わせ延べ 7 1 5 名が参加
共同研究 「地域産業の振興及び県内企業支援方策の検討に資する基礎調査・研究の共同実施」	○実施期間 香川大学との共同研究 平成 2 9 年 2 月 2 0 日～平成 2 9 年 3 月 3 1 日 ○内容 平成 2 7 年度に県内製造業に対して実施したアンケート調査の結果分析をとりまとめた。また、平成 2 9 年度に実施予定のアンケート調査の準備を実施した。

2. 債務保証・利子補給事業

1 千円

（1）債務保証

研究開発型企業が新技術・新製品の開発及び事業化を行うに際し必要とする資金の円滑な借入れを支援するため、無担保の債務保証を行う事業であるが、基金の国費返還を見据え 2 8 年度は前年度に引き続き、新規債務保証案件の募集を休止とした。代位弁済執行済案件 2 件の継続管理を行った。

（2）利子補給

債務保証事業の適用を受けた借入資金に対し、年 2 . 0 % の利子補給を行う事業である

が、２８年度は新規、過年度ともに利子補給案件が無かった。

３．科学技術振興事業

１７０，１１０千円

（１）戦略的基盤技術高度化支援事業

我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（発酵、鋳造、鍛造、切削加工、めっき等）の高度化に資する革新的かつハイリスクな研究開発等を促進することを目的とした「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」を推進した。

財団は事業の管理法人として、平成２７年度に引き続き平成２６年度採択事業１件、平成２７年度採択事業２件および、平成２８年度新規採択事業２件の計５件について、経済産業省から補助金を受けて事業を進めた。

○平成２６年度より継続事業（平成２８年度末で事業終了）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
超高分子量ポリエチレン繊維を用いた海洋構造物係留ロープの耐久性向上技術の開発	平成２６年 １０月～ 平成２９年 ３月	高木綱業(株) 国立研究開発 法人産業技術 総合研究所 香川県産業技 術センター	２１．５百万円

○平成２７年度より継続事業（研究開発２年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
希少糖D - アロースの大量生産技術の確立とその応用技術の開発	平成２７年９月～ 平成３０年３月	松谷化学工業(株) 香川大学 香川県産業技術 センター	２９．８百万円
再生医療の産業化に向けた未分化・造腫瘍性細胞の検出技術の開発	平成２７年９月～ 平成３０年３月	(株)レクザム 国立研究開発法 人産業技術総合 研究所	２８．６百万円

○平成２８年度新規採択事業（研究開発１年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
バイオ医薬品の経皮吸収を可能にする粘着テープ化技術の開発	平成２８年９月～ 平成３１年３月	(株)トアレックス 徳島大学	４４．９百万円
角質層内セラミドの増加作用を有する合成カエデタンニンの低コスト大量生産技術の開発	平成２８年９月～ 平成３１年３月	(株)伏見製薬所 富山大学	４５．０百万円

４．地域共同研究開発事業

７７，１０７千円

地域企業と連携して、開発可能性調査研究型プロジェクト、受託研究、技術指導実験、県内産業育成支援のための調査研究、R I S T保有研究機器等の一般開放を実施し、事業化・商品化支援を行うとともに、企業訪問による技術指導、技術講演会の開催、研究施設一般公開等を実施した。

また、食品産業への支援として「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」によるシンポジウムの開催や工場施設見学及び新機能性表示食品開発相談

センターによる機能性表示食品制度に関する相談・指導を実施した。

(1) 研究開発事業

① 企業支援研究

食の安全・安心対策や環境保全対策など社会的課題を踏まえたテーマを中心に、企業との共同開発研究、開発可能性調査研究、受託研究等を推進した。

区分	平成28年度実施件数
開発可能性調査研究 (FS研究)	3件 (県内1企業、県外2企業)
受託研究	4件 (県内4企業)
技術指導実験	21件

② 調査研究事業

事業名	内容・結果
食品機能性材料調査研究	活用ニーズのある県産農産物の未利用部位等の機能性に関する調査を行い、機能性表示食品に利用できる素材の開発を行った。 ●調査対象：ひまわり油の圧搾滓 ●実施結果： 圧搾滓から水熱抽出技術による機能性成分（クロロゲン酸関連物質）の抽出物を乾燥粉末化して、機能性食品素材の試作を行った。
冷凍調理食品産業支援研究 (香川県産業技術センターとの共同研究)	冷凍調理食品の課題である加熱ムラ・冷凍ヤケ抑制対策の検討を実施した。 ●研究対象：冷凍うどん ●実施結果： うどんの形状、太さ、包装フィルムの種類を変えて、加熱ムラ・冷凍ヤケのない条件を検討した。
炭素繊維複合材料関連産業育成事業 (香川県産業技術センターとの共同研究)	CFRPに関する材料物性を測定・評価し、その結果を基に最適な成型加工技術を検討した。

③ 産業財産権

平成11年度から平成28年度までに98件の特許出願（うち平成28年度は1件）を実施しており、87件が公開され、34件が登録特許となった。

なお、登録特許のうち13件（うち平成28年度4件）は当該特許の実施見込みがない等の理由により権利放棄した。

また、保有特許の企業利用を促進するため、新技術・新工法展示商談会 in クボタ（平成28年11月18日開催）に特許2件を出展した。

(2) 機能性食品開発支援事業

① かがわ機能性食品等開発研究会による支援

かがわ機能性食品等開発研究会の事業としてシンポジウム及び工場見学会を開催し、機能性食品等の開発に係る県内企業の研究開発や商品開発の取り組みを支援した。

区分	内容等
工場見学会 (かがわ冷凍食品研究 フォーラム合同実施)	○開催日：平成２８年６月２１日（火） ○見学先 ①日本食研（株）（愛媛県今治市） ②ヤマキ（株）第２工場（愛媛県伊予市） ○参加者：４１名
第４回シンポジウム	○開催日時：平成２８年９月２７日（火） １３時３０分～１６時３０分 ○場 所：サンポートホール高松５４会議室 ○特別講演 「機能性農産物の開発と機能性表示制度の活用」 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門食品健康機能研究領域長 山本 万理 氏 ○講演 「健幸支援食品制度の創設に向けて」 (一財) 四国産業・技術振興センター 産業振興部部長 森 久世司 氏 ○事例発表 「小豆島で栽培した長命草を使った新製品開発」 小豆島食材開発会議 会長 片山 俊朗 氏 ○参加者：６６名

② 機能性表示食品届出支援

平成２７年６月に設置した新機能性表示食品開発相談センターでは、機能性表示食品届出書作成等支援業務を２件受託するとともに、機能性表示食品開発・届出に関する相談業務（平成２８年度相談件数：５０件）を行った。

(３) 冷凍食品産業支援事業

かがわ冷凍食品研究フォーラムの事業として、シンポジウム及び工場見学会を開催し、県内の冷凍食品を製造する企業等の研究開発や商品開発の取り組みを支援した。

区分	内容等
第４回シンポジウム	○開催日時：平成２８年１１月７日（月） １３時３０分～１６時３０分 ○場 所：サンメッセ香川 ２階中会議室 ○基調講演 「デジカメで麺のおいしさを探る」 京都大学大学院農学研究科 教授 安達 修二 氏 ○事例発表 「健康志向の冷凍かき揚げの開発」 (株) 細川食品 開発部長 大広 精一 氏 香川短期大学 准教授 松永 美恵子 氏 「ブレンド調味料の各種機能性事例紹介」 日本食研ホールディングス（株） 技術開発部 部長 鈴木 邦弘 氏 ○参加者：５０名

工場見学会 (かがわ機能性食品等 開発研究会合同実施)	かがわ機能性食品等開発研究会工場見学会に同じ
-----------------------------------	------------------------

(4) 商品化・事業化促進事業

研究開発・技術開発終了後、実用化の段階にある企業に対して、研究者による技術移転とともに、食品加工の専門家によるサポートを実施した。

(5) 研究設備・機器の一般開放

高温高圧流体技術やマイクロ波技術に関する装置、物性測定装置及び分析装置などの研究機器を企業等に開放した。(平成28年度利用件数：43件)

また、RIST保有研究機器等の、一層の利用促進を図るため、「異物分析・食品等の成分検査」をテーマに、蛍光X線分析装置、マイクロプレートリーダーを使って体験型機器利用講習会を実施した(受講者：16名)。

(6) 一般公開、技術講演会の開催

RISTかがわの活動等について県民の方々に知っていただくため、小学生高学年親子を対象に、(一社)香川県発明協会と共同開催で「科学と発明おもしろ体験学習」を実施した。

また、県内企業のRISTかがわの利用促進を図るため、食品企業を対象に乾燥・粉碎等の食品加工技術に関する講演会を開催した。

区分	内容等
「科学と発明」おもしろ体験学習	○開催日時：平成28年8月20日(土) 10時～13時30分 ○内容 小学生高学年親子を対象に、下記の体験講座を実施した。 ① いろいろな顕微鏡でのぞく世界 ② 電子レンジでガラス細工 ③ 発明工作教室 ○参加者：親子26組(57名)
平成28年度食品加工技術講演会	○開催日時：平成29年1月23日(月) 13時30分～16時15分 ○場所：サンメッセ香川 2階サンメッセホール ○講演 「機能性食品素材の粉末化～魚油を例に～」 香川大学農学部 教授 吉井 英文 氏 ○事例紹介 「冷風乾燥技術について」 (株)クールドライマシナリー 柳川 修平 氏 「マイクロ波技術の食品分野への応用について」 四国計測工業(株)開発部 國井 勝之 氏 「業務用冷凍庫(急速凍結庫)」 ホシザキ四国(株) 部長 原井 忠司 氏 ○参加者：70名

5. 先端技術成果実用化支援事業

1,331千円

産学官連携で取り組んできた糖質バイオの研究・開発の成果を、引き続き地元企業に普及

させるため、県の補助を受け、企業や研究者との情報交換等を図るほか、産学官の関係者が連携による広域的な人的ネットワークを形成するために、かがわ糖質バイオフィォーラムを運営した。

また希少糖関連事業の円滑な推進を図るために総合的な調整等を行う「香川県希少糖戦略会議」の「生産・健康・医療部会」の運営に関与し調整を図った。

区 分	内 容
かがわ糖質バイオフィォーラムの運営	かがわ糖質バイオフィォーラムシンポジウム及び研究会を開催し、研究開発の進捗状況を発表するほか、産学官の研究者の積極的な意見交換を行うことで、企業と大学研究者などとの人的ネットワークの形成・拡大を図った。
「生産・健康・医療部会」の調整	希少糖のPR、希少糖関連商品の販売、希少糖の生産、香川大学での研究拠点化について情報交換、調整等を行うことにより、希少糖関連プロジェクトの推進を図った。

○かがわ糖質バイオフィォーラム第9回シンポジウムの開催

- ① 開催日時 平成29年2月1日(水) 13時～17時
- ② 開催場所 かがわ国際会議場
- ③ 参加者 県内外の産学官関係者 106名
- ④ 内 容
 - ・特別講演
「信州の地方創生（＝未来創造）イニシアティブへの挑戦」
信州大学 先鋭領域融合研究群長
学術研究・産学官連携推進機構長 理事・副学長 中村宗一郎 氏
 - ・基調講演
「トレハロースの機能とアプリケーション」
榊林原 研究開発本部分析部 研究員 國武博文 氏
 - ・サイエンスカフェ（ポスター発表と交流会）
国公立研究機関及び県内民間企業によるポスター発表 20題

○研究会活動（複合糖質・糖鎖研究会）

- ① 開催日時 平成29年1月11日（水）13時30分～17時
- ② 開催場所 情報交流館 e-とぴあ・かがわ
- ③ 参加者 47名
- ④ 内 容
 - ・基調講演① 「病原菌の狡猾さを酵母で解く：病原因子エフェクターの分子メカニズムの解明」
田淵 光昭 氏 香川大学農学部応用生物科学科/准教授
 - ・基調講演② 「酢酸菌由来リポ多糖の構造と生物活性」
橋本 雅仁 氏 鹿児島大学学術研究院理工学域工学系化学生命・化学工学専攻/教授
 - ・基調講演③ 「*Immunopotentiator from Pantoea agglomerans*1 (IP-PA1)の細胞、小動物への応用とその機能メカニズム解析」
若命 浩二 氏 北海道薬科大学薬学部応用薬学系薬理学分野/准教授
 - ・研究紹介① 「βグルコオリゴ糖の構造解析法の開発」
中北 慎一 氏 香川大学総合生命科学研究センター糖鎖解析研究部門/准教授
 - ・研究紹介② 「ホメオスタシス多視点評価システムを用いた生活習慣病動物モデル・ヒトの評価および既存バイオマーカーとの比較」
小林 優多郎 氏 香川大学医学部統合免疫システム学講座/博士研究員

○希少糖戦略会議 生産・健康・医療部会 (FROM 香川 1F スタッフルーム)

＜部会での協議事項＞

- ①「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクト
- ②大学での研究成果
- ③レアースュガースウィート (RSS) の国内市場状況及びプシコースの国内外展開
- ④プシコースの特定保健用食品認可に向けての状況と機能性表示食品制度
- ⑤希少糖 (プシコース、RSS 等) の広報状況、普及等

＜H28 年度開催実績＞ ※いずれも非公開。

- ・第 9 回 6 月 2 9 日
- ・第 1 0 回 9 月 2 9 日
- ・第 1 1 回 1 2 月 1 4 日
- ・第 1 2 回 3 月 2 1 日

6. 健康関連製品開発事業

5, 1 6 9 千円

県内 1 5 の産学官機関が策定し、国の地域イノベーション戦略支援地域の選定を受けた「かがわ健康関連製品開発地域構想」を推進するため、県補助金を活用して、医療機器や福祉機器等の製品開発・事業化の促進に努めることで、健康関連産業の創出を図った。

(1) 事業化促進

全国規模の展示会に大学、地域企業と共同で出展し、県内技術の紹介を行うことにより、事業化の促進を図った。

nano tech 2017 (第 1 6 回国際ナ ノテクノロジー総 合展・技術会議)	会期：平成 2 9 年 2 月 1 5 日 (水) ～ 2 月 1 7 日 (金) 会場：東京ビッグサイト東展示ホール 出展：フッ素ガス表面処理による微細流路親水化技術 (高松帝酸株 式会社) 微細加工技術、微細金型技術 (株式会社長峰製作所) MEMS 触覚センサ (香川大学)
---	---

(2) 地域企業の新規参入等支援

地域企業の健康関連産業分野への新規参入促進、製品開発支援を行うため、かがわ健康関連製品開発フォーラム及び微細構造デバイス研究開発フォーラムを運営し、各種セミナー等を実施することにより地域企業に対して各種情報提供を行うとともに、人的なネットワークの構築、産学官の連携による新事業、新産業の創出に努めた。

また、ものづくり企業が医療分野に新規参入するためには医療機器メーカーと連携することが有効であることから、医工連携を紹介するセミナーの開催や、在京の発注開拓コーディネーターと協働して、東京都文京区本郷地区の医療機器メーカー等とのマッチングを行い、現地において商工組合日本医療機器協会と協力して展示・商談会を実施した。

このほか、薬機法や医療機器の開発などに幅広い知識と豊富な経験を有する吉川典子氏に薬事マネジメント相談員を委嘱し、薬事マネジメント相談会を開催した。

① かがわ健康関連製品開発フォーラム

設立：平成 2 4 年 7 月 1 日、平成 2 5 年 9 月 1 日「IT ビジネス部会」を設置

フォーラム会長：香川大学社会連携・知的財産センター特命教授 山本知生

会員数：法人会員 8 6、個人会員 3 8、賛助会員 1 0 計 1 3 4

うち IT ビジネス部会会員 2 7 (平成 2 9 年 3 月末)

第11回セミナー	日時：平成28年11月21日（月）14時～16時 場所：香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室 内容：福祉・医療現場ニーズと企業技術シーズとのマッチング交流会 参加：60名
ITビジネス部会 第5回勉強会	日時：平成29年2月24日（金）14時～16時30分 場所：サンメッセ香川2階中会議室 内容：ICTを活用した健康関連製品&ビジネス～可能性の海から～ 参加：26名

② 微細構造デバイス研究開発フォーラム

設立：平成17年4月1日

フォーラム会長：香川大学工学部特命教授 三原豊

会員数：法人会員20、個人会員11、賛助会員4 計35（平成29年3月末）

微細構造デバイス 研究開発フォーラム	日時：平成29年1月31日（火）13時～16時 場所：高松国際ホテル2階「玉藻の間」 内容：「産業・社会を支えるマイクロマシン」～ロボット、医療応用、高性能化～ 参加：48名
-----------------------	--

③ 医療機器メーカーとのマッチング

医療機器産業参入 セミナー	日時：平成28年6月6日（月）13時30分～16時15分 会場：香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室 内容：ものづくり企業と医療機器製造販売企業との連携による医療機器産業への参入について 等 参加：26名
香川県ものづくり 企業と医療機器メ ーカーとの展示・商 談会 in 本郷	日時：平成28年8月4日（木）13時～19時30分 会場：医科器械会館（東京都文京区本郷） 主催：かがわ産業支援財団、香川県 共催：商工組合日本医療機器協会 参加：県内ものづくり企業17社及び特別出展3 来場：東京都文京区本郷地区医療器メーカー等 内容：在京の発注開拓コーディネーターと協働して、本郷地区の医療機器メーカー等を訪問してニーズを収集し、県内ものづくり企業の紹介等を介して事前マッチングを行った。 51社・団体、延208名の来場があり、62件の商談が行われ、各社展示ブースでは出展企業と医療機器メーカーの意見交換が行われた。 出展の有無に係わらず、希望のあった企業に対するマッチングと商談後のサポートを年間を通して実施した。（登録企業数20社）

④ 薬事マネジメント相談会の開催

第1回	日時：平成28年7月8日（木）14時～17時 場所：FROM香川2階第3コーディネート室 相談員：薬事マネジメント相談員 吉川典子氏 内容：円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する無料個別相談会 参加者：県内中小企業3社
-----	---

第2回	日 時：平成28年12月16日（金）13時～17時 場 所：FROM香川2階第3コーディネート室 相談員：薬事マネジメント相談員 吉川典子氏 内 容：円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する無料個別相談会 参加者：県内中小企業4社
-----	--

Ⅲ 下請中小企業の振興のための事業

1. 下請企業振興対策事業

17,001千円

取引情報収集提供事業	下請取引のあっせん ・受発注取引を希望する登録企業の取引あっせんを行った。	454件
	取引情報の収集提供 ・専門調査員等が登録企業を訪問し、受発注情報や企業情報等の収集・提供を行った。 ・発注開拓促進会議の開催 県内発注企業の景況、外注計画等の情報交換 平成29年3月16日 香川産業頭脳化センタービル	419件 1回
	共同受注推進会議の開催 共同受注の推進のための講習会等を開催した。 ・共同受注推進講習会（講演会） 平成28年5月27日 対象：香川県縫製品工業協同組合 場所：オークラホテル丸亀（丸亀市） 演題：「香川よろず支援拠点のミッション」 講師：香川県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 本多 八潮 氏 （24人参加） 平成29年1月27日 対象：香川県縫製品工業協同組合 場所：オークラホテル丸亀（丸亀市） 演題：「やる気を引き出す「実習現場の処方せん」」 講師：JITCO（公益財団法人 国際研修協力機構） 能力開発部 移行業務課 専門役 川上 光信氏 （22人参加）	2回
	広域商談会の開催 ① 四国4県合同で広域商談会を開催した。 「四国ビジネスマッチング2016（合同広域商談会）」 日 時：平成28年11月16日 11時～17時 場 所：アイテムえひめ（松山市） 参加者：県内受注企業40社 ② 近畿・四国合同で広域商談会を開催した。 「平成28年度モノづくり受発注広域商談会」 日 時：平成28年9月29日 10時～17時 場 所：マイドームおおさか（大阪市） 参加者：県内受注企業13社	8回

	「平成28年度近畿・四国合同広域商談会」 日 時：平成29年3月1日・2日 10時30分～16時40分 場 所：京都パルスプラザ（京都市） 参加者：県内受注企業11社 個別商談会の開催 ① タプロゲジャパン(株)（神戸市） 日 時：平成28年10月7日 参加者：県内受注企業3社 ② (株)中原製作所（岡山市） 日 時：平成29年3月7日 参加者：県内受注企業4社 ③ 南条装備工業(株)（広島市） 日 時：平成29年3月17日 参加者：県内受注企業4社 有力な展示商談会への共同出展支援 ①「第20回機械要素技術展」（東京ビッグサイト）に出展し、県内のものづくり系企業を対象に香川県ブースを展示 平成28年6月22日～24日 出展企業10社 四国企業販路開拓マッチングプロジェクト ①「第19回関西機械要素技術展」（インテックス大阪）に、県内のものづくり系企業を対象に香川県ブースを出展し、四国企業販路開拓マッチングプロジェクトとして四国4県が合同でPRした。 平成28年10月5日～7日 出展企業8社	
下請かけこみ寺事業	（公財）全国中小企業取引振興協会の実施する「下請かけこみ寺事業」の地域拠点として、下請取引に関する様々な相談に対応した。（弁護士無料相談含む）	48件

IV 創業支援、ベンチャー企業育成、産業の高度化、産学官共同研究の推進等のための施設の管理・運営事業

1. 頭脳化センター施設提供事業

139,036千円

香川産業頭脳化センタービルの貸室は、創業しようとする者や創業間もない者が入居できる「インキュベートルーム」及び地域産業の高度化に寄与すると認められる企業等が入居できる「リサーチルーム」からなっており、その入居については「香川産業頭脳化センタービル入居者選考委員会」において審議するなど、適切な運営に努めた。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
インキュベートルーム	35室	6室
リサーチルーム		26室

※入居者によって「インキュベートルーム」、「リサーチルーム」の区分が変わる。

2. IT関連インキュベート施設管理運営事業

4,892千円

ITを活用し新事業に取り組む起業者(ネットベンチャー)等を支援するため、高速通信回線が整備された部屋を低料金で利用できるインキュベート施設「ITスクエア」を香川県の補助を受けて運営した。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
ITスクエア	11室	9室

3. 県有施設管理運営事業

74,331千円

地域企業の技術の高度化や新分野進出を支援するためのインキュベート工房や電波暗室を設けた県有施設の「香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)」及び先端技術産業分野の研究開発を産学官で行うための拠点施設「香川県科学技術研究センター(FROM香川)」について、県より指定管理者の指定を受け、平成28年度から5年間、管理運営を行う。

(1) ネクスト香川及びFROM香川入居状況

(29.3 末現在)

区 分	インキュベート工房 (ネクスト香川)	研 究 室 等 (FROM香川)
入 居 者	・創業又は新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者であって、その利用を開始する時点において、次のいずれかに該当する者 ①新たに事業を営もうとする者 ②新たに事業を営んだ日以後5年を経過していない者 ③事業の多角化、事業の転換等により新たな事業の分野へ進出しようとする者 ④産業振興に資するものと知事が認める者	・産学官共同研究を行うグループで、産学官を2以上含み、うち1以上が県内で主たる研究開発を行うもの ・産学官共同研究のうち、基礎研究の成果を実用化に結びつけるための研究開発を行う企業 ・産学官連携推進事業を行う法人
規 模	大型5室 小型6室	メカトロ研究室1室 バイオ研究室1室 一般研究室5室(各室3分割可能) 産学官連携推進室
入居状況	大型1室 小型3室	メカトロ研究室 バイオ研究室 一般研究室12室、8グループ 産学官連携推進室
利用料金	月額2,570円/㎡ (月額1,540円/㎡に減額される場合あり)	・産学官共同研究グループ 無料 ・実用化研究企業 月額2,570円/㎡ (月額1,540円/㎡に減額される場合あり) ・産学官連携推進事業を行う法人 無料

入居期間	3年間（最長12年まで延長が可能） ただし知事が別に定める事業の分野に属する場合は、この限りではない。 （特定事業分野：地域資源や伝統技術を活用した特長のある食品・バイオ関連分野、健康関連分野、先端技術や基盤技術を活用したものづくり分野、エネルギー・環境関連分野）
------	--

○ネクスト香川インキュベート工房入居状況（11室中4室入居）

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
101	レック(株)	収納・インテリア用品、サニタリー用品、洗濯用品、清掃用品、ベビー・キッズ用品	H26.9.1
202	(株)未来機械	窓清掃ロボット及びメカトロニクス製品の研究開発、製造・販売	H20.10.1
205	自然免疫制御技術研究組合	動物実験による健康食品産業の支援	H29.2.1
304	メロディ・インターナショナル(株)	K-MIXと連携する胎児心拍計、遠隔医療システム、健康生活アプリの開発	H27.9.1

○FROM香川研究室等入居状況（17室中14室入居）

研究室名	研究グループ名 (研究代表/使用責任者)	研究テーマ	入居研究機関	入居年月日
メカトロ研究室	マイクロ加工研究グループ (香川大学 高尾英邦/ 寺尾京平)	集積化マイクロ・ナノデバイスの研究開発	香川大学工学部、医学部、農学部 群馬大学、東洋大学、兵庫県立大学 東京大学 京都大学 静岡大学 (株)レクザム 四国総合研究所アオイ電子(株) 吉野川電線(株) 四国計測工業(株)半導体理化学研究センター ユニチャーム(株) プロテノバ(株) 産業技術総合研究所	H25.10.1

バイオ研究室	自然免疫グループ (香川大学 杉源一郎/ 稲川裕之)	組織マクロファージを制御する食用植物由来のLPSを利用した新規な疾患予防・治療法の開発	香川大学医学部、農学部 自然免疫制御技術研究組合 (特活)環瀬戸内自然免疫ネットワーク 自然免疫応用技研(株) 東洋ライス(株) 協同組合米ワールド 21普及協議会	H25.8.1
一般研究室(1a)	糖鎖加工酵素研究グループ (香川大学 中北慎一/ 同上)	糖鎖加工酵素の製造研究	香川大学総合生命科学研究センター 九州大学 (株)伏見製薬所	H25.9.17
一般研究室(1b)				
一般研究室(1c)	IoT 機器開発共同研究グループ(株)未来機械 三宅徹/浦治男)	非接触三次元測定センサを核とした生産設備のIoT化システム等の研究開発	香川大学工学部 (株)未来機械	H27.7.1
一般研究室(2c)	かがわ地域医療情報ネットワーク構築研究会 (香川大学 原量宏/ 同上)	香川県産業成長戦略「K-MIX 関連産業育成プロジェクト」におけるK-MIXブランドを確立するためのシステム開発研究	香川大学瀬戸内圏研究センター、医学部 徳島文理大学香川薬学部 NPO 法人 e-HCIK (株)STNet ネットワークシステムズ(株) (株)四国中検 富士通(株)四国支社日本メディカル(株) (株)ミトラ フィンガルリンク(株)	H26.9.1
一般研究室(3a)	SGP研究グループ (香川大学 中北慎一/ 同上)	シアリルグリコペプチドの製造研究	香川大学総合生命科学研究センター (株)伏見製薬所	H26.4.1
一般研究室(3b)				H25.3.1
一般研究室(3c)				
一般研究室(4b)	自律移動ロボット共同研究グループ (株)未来機械 三宅徹/ 同上)	自律移動ロボットの研究開発	香川大学工学部 (株)未来機械	H26.4.1
一般研究室(4c)				H26.4.1

一 般 研究室 (5 a)	海洋細菌多糖と植物 乳酸菌の機能開発共 同研究グループ (香川大学 岡崎勝一 郎／(株)ハマダフード システム 蓮井昌彦)	海洋細菌多糖 と植物乳酸菌 の機能開発	香川大学農学部 (株)ハマダフードシス テム (株)ピカソ美化学研究 所 富士産業(株)	H 2 8 . 4 . 1
一 般 研究室 (5 b)	和食のおいしさの科 学共同研究グループ ((一社)美味しさの科 学研究所 山野 善正 ／山下哲男)	和食のおいし さの科学的探 究と実際への 応用	(一社)おいしさの科 学研究所 香川大学農学部、工学 部 (株)かめびし (有)もり家 やまくに (株)有馬	H 2 6 . 4 . 1
一 般 研究室 (5 c)	バキュロ発現系生産 限界技術共同研究グ ループ (株)バキュロテクノ ロジーズ馬嶋景/同左)	バキュロウイ ルス発現系の 生産限界技術 開発	(株)バキュロテクノ ロジーズ 山 口 大 学 農 学 部 (有)生産資源研究所 日本大学医学部	H 2 8 . 4 . 1

(2) FROM香川共同機器室及びバイオ関連共同実験室

① 利用状況

- ・共同機器室：3件
- ・バイオ関連共同実験室：6件

② 機器利用講習会の開催

- ・開催回数：3回
- ・参加人数：延29人

月 日	機器名	参加 人数
1 1 月 2 5 日	分光光度計	1 0
1 2 月 2 日	フーリエ変換赤外分光高度計	1 3
1 2 月 9 日	走査型プローブ顕微鏡	6
	合 計	2 9

(3) ネクスト香川EMC総合試験施設管理運営

EMC総合試験施設使用状況 稼働率 98.7% (29年3月末現在)

区 分	利用企業数	利用時間 (実日数)	
		大型電波暗室	小型電波暗室
県内企業	8 社	3 9 1 時間 (5 2 日)	6 1 0 時間 (8 8 日)
県外企業	2 5 社	1, 0 6 4 時間 (1 4 9 日)	9 8 7 時間 (1 3 0 日)
合 計	3 3 社	1, 4 5 5 時間 (2 0 1 日)	1, 5 9 7 時間 (2 1 8 日)

(4) かがわEMC技術研究会事業

区 分	内 容 等
EMC講習会	○開催日時 平成28年6月10日(金)13時～17時 ○会 場 香川県頭脳化センタービル2階 一般研修室 ○テーマ等 ・いまさら聞けないEMC 似て非なる2つの試験 滋賀県工業技術総合センター 山本 典央 氏 ・理論は怖くない かがわEMC技術研究会 会長 古賀 隆治 氏 ・EMSCAN社 近傍電磁界用スキャナーシステム紹介 バイテックグローバルエレクトロニクス株式会社 第1営業部 竹仲 渉 氏 ・車載電気電子機器のEMC対応設計 株式会社クオルテック EMC技術研究室室長 前野 剛 氏 ○参加者数 62名
EMC研究会	○開催日時 平成28年11月25日(金)13時～17時 ○会 場 ネクスト香川 3階 大会議室 ○テーマ ・EMI測定的基础(前半、後半) 株式会社東陽テクニカ 技術部副主幹 中村 哲也 氏 ○参加者数(会員限定) 44名

なお、EMC対策講習会については、新規機器の導入があったため、希望者を対象として香川県主導で第2回～第4回講習会が開催され、財団も開催に協力したところである。

V かがわ中小企業応援基金を活用した新産業の創出、地域産業の革新等のための支援事業

かがわ中小企業応援ファンド事業

212,285千円

(独)中小企業基盤整備機構、香川県及び当財団が資金を拠出した総額118億円の「かがわ中小企業応援基金」を活用して、中小企業者等に助成を行うなどにより、先端技術産業や地場産業の新たな取り組みなどを支援した。

1. 助成事業の状況

(1) 28年度助成事業の募集期間

平成27年11月16日(月)～平成28年1月22日(金)

(新分野等チャレンジ支援事業、地域企業国内販路開拓支援事業の募集期間は平成27年11月16日(月)～平成28年2月12日(金))

(2) 事業件数

【継 続 : 16件 22,595千円】

【新規採択 : 105件 127,450千円】

区 分	継続	28年度新規	
		申請件数	採択件数
①新分野等チャレンジ支援事業	6	20	13
②成長のエンジンとなる分野支援事業	4	10	6
③地域企業研究開発小規模助成事業	3 (うち廃止1件)	9	8
④県外見本市出展支援	1	42	39 (うち廃止1件)
⑤海外見本市出展支援	—	18	14 (うち廃止1件)
⑥ものづくり産業スキルアップ助成事業	—	3	3
⑦ものづくり産業生産性向上支援事業	—	7	6
⑧特定地場産業活性化ブランド確立支援事業	2	6	5
⑨経営革新支援事業	—	8	5
⑩創業ベンチャー・地域密着型ビジネス支援事業 (かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ枠 1件含む)	—	9	6
合 計	16	132	105

(3) 助成事業の詳細

① 新分野等チャレンジ支援事業

県内中小企業者等の取り組む、以下のチャレンジ事業に対して助成を行った。

- 1) 新分野進出のための商品・技術の開発
- 2) 市場性を見極めるための試作品作成
- 3) 付加価値の高い新製品開発のための実証試験
- 4) 新事業の可能性評価
- 5) 技術課題の解決

ア 継続 【6件、助成額5,534千円】

テーマ	事業者
希少糖入り高機能性ジェラートの開発	ジェラートCaju×果樹
オリーブ滓の粉末化による二次利用化技術の開発	(株)テルシタ
果物貯蔵用シート素材ならびにそのシート素材を用いた貯蔵方法の開発	七王工業(株)
香川県産の桃を使った新食感リキュールの開発	西野金陵(株)
オリーブ葉を利用した健康調味料の試作	ヤマサン醤油(株)
生花の半自動レインボーカラー染色装置の試作	(有)リヴァー・フィールド・フラワーズ

イ 新規採択 【13件、助成額6,694千円】

テーマ	事業者
レンジ対応蒸気抜き機能付スタンドパウチ(自立型包装袋)の開発	(株)北四国グラビア印刷
3Dプリンタを用いた石膏-金型ハイブリッド鋳造法の開発および同プロセスを用いた新商品の開発	山田鋳造鉄工(株)
善通寺市の農産物のダイシモチ麦及びニンニクを用いた加工品開発	(株)まんでがん
持続可能型コンクリート用砂の開発	香川県砕石事業協同組合
観光客向け土産商品開発事業	丸一倉庫(株)
オリーブの搾油滓及び醤油粕から有用成分の分離・抽出	(株)小豆島クリーンサービス
「安全性・作業性・防汚性」を有するマグロ解体用グローブの開発	(株)大熊
複雑形状部品の精密加工技術の確立	(株)シンキ製作所
急速凍結法による冷凍「四国へんろ寿司」の試作	タケウチ
次世代の自動車に対応した電動式自動ドアの開発	(株)日本トレーディング
烏骨鶏新銘柄「東かがわ烏骨鶏(仮称)」作出プロジェクト	東かがわ烏骨鶏ファーム(株)
超難削材インコネル718加工技術の確立	(株)プロテック
辛みを有する新しいからし油の試作	(株)山清

② 成長のエンジンとなる分野支援事業

「香川県産業成長戦略」で定められた「成長のエンジンとなる分野」のうち、①地域資源や伝統技術を活用した特長ある食品・バイオ関連分野、②健康関連分野、③先端技術や基盤技術を活用したものづくり分野、④エネルギー・環境関連分野における新たな商品開発や技術開発に対して支援を行った。

ア 継続 【4件、助成額12,921千円】

テーマ	事業者
医療情報システム(かがわ遠隔医療ネットワーク「K-MIX」等)との連携を可能とする訪問看護・介護システム「Carelux(ケアラクスル)」の開発	(株)CEK
新規な冷凍食品用包装材料の開発	日生化学(株)
抗体医薬の低コスト化に貢献する高耐久型結合タンパク質の開発	プロテノバ(株)
車椅子入浴補助機能付き個浴における、車椅子及びバスタブの動作性向上を目的とした改良開発と販路開拓	(株)ヤエス

イ 新規採択 【6件、助成額39,069千円】

テーマ	事業者
非円形ディンプルゴルフボールの研究開発	キャスコ(株)
次世代型デジタルサイネージの開発	(株)広立
新しい腹膜透析用バックの高品質素材の開発	四国化工(株)
国産キャビアの高効率・高品質生産システムの開発	大協建工(株)
バイオ医薬品等の原料となるオキサゾリン化糖鎖商品群の開発	(株)伏見製薬所
プラスチック製団扇の新しい製造技術と高含有バイオマス樹脂からなる新規商品の開発	(株)ヤマダ

③ 地域企業研究開発小規模助成事業

[独創的・産業財産権活用型研究枠]

独創的な研究開発や、特許権、実用新案権、意匠権等の産業財産権を活用した付加価値の高い新製品づくりや新技術の実用化に対して支援を行った。

ア 継続 【1件、助成額1,930千円】

テーマ	事業者
意匠性と断熱性を考慮した屋根30分耐火構造の研究開発事業	(株)川上板金工業所

イ 新規採択 【採択5件、助成額10,907千円】

テーマ	事業者
健康の維持・増進に役立つ麺類(機能性表示食品)の開発	(株)久保田麺業
汚泥脱水装置の開発	(株)三和テスコ
国産針葉樹複合台板を用いたJAS特殊加工仕上げ床材の開発	東洋テックス(株)
純国産固形にがりの開発	仁尾興産(株)
高齢化社会に対応する加齢臭対策のための高性能消臭洗濯剤の開発	(株)白洋舎

[地域資源活用枠]

県が「地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想」で指定した、うどん、オリーブ、手袋、漆器など本県の強みである地域資源を活用した新製品の開発に対して支援を行った。

ア 継続 【2件(うち廃止1件)、助成額198千円】

テーマ	事業者
品質・生産性向上を目的としたオリーブ栽培技術の開発	東洋オリーブ(株)
真空下マイクロ波を活用した「オリーブ牛」赤身熟成肉製造研究開発事業	香川県食肉事業(協) 【廃止】

イ 新規採択 【3件、助成額6,122千円】

テーマ	事業者
香川の特産品を原料に配合した、新しい香の開発	(株)岩佐佛喜堂
独自の生地接着技術による手袋製法技術の確立及び製品開発	ウインセス(株)
縫製技術を活用し、装飾性を持たせたイヤホンコードの開発	(株)タナベ刺繍

④ 地域企業国内販路開拓支援事業(県外見本市出展支援)

県内中小企業者等に対して、国内で開催される見本市への出展の支援を行った。

ア 継続 【1件、助成額333千円】

テーマ	事業者
JFW-インターナショナルファッションフェア	福田手袋(株)

イ 新規採択 【39件（うち廃止1件）、助成額12,211千円】

テーマ	事業者
東京インターナショナルギフトショー2016 秋	(株)イチーナ
国際副資材総合展 2016	(株)尾崎スクリーン
第20回グルメ&ダイニングスタイルショー	銀四郎麺業(株)
第2回 国際ドローン展	(株)空撮技研
インテリア ライフスタイル 東京 2016	(株)広立
	(株)ゴールド工芸製作所
関西外食ビジネスウィーク 2016	さぬき麺機(株)
震災対策技術展 大阪	四国プランニング(株)
	日本工機(株)
第27回設計・製造ソリューション展	(株)ジョーソンドキュメンツ
HOSPEX JAPAN 2016	(株)セントレディス
オリーブオイル関西国際商談専門見本市 2016	(株)高尾農園
第27回国際文具・紙製品展 ISOT	日本ケミフェルト(株)
	(株)マルモ印刷
第11回 国際雑貨 EXPO	(株)マハロカンパニー
地方創生『食の魅力』発見商談会 2016	民サ麺業(株)
第53回インターナショナルプレミアム・インセンティブショー	(株)ヤマダ
CYCLE MODE international 2016	(有)アイヴエモーション
癒しフェア 2017 in 大阪	(株)アグリオリーブ小豆島
トイレ・バス・キッチン空間フェア 2016	(株)綾野製作所
第55回インターナショナルプレミアム・インセンティブショー	(株)ウチダ
ハートフルフェスタ展示会	(株)家具家
地方銀行フードセレクション 2016	(株)ウエストフードプランニング
	(株)キョーワ
	キンダイ製麺(株)
	サヌキ食品(株)
JUMBLE TOKYO 2016	丸一倉庫(株)
interstyle	サングローブ(株)
Inter BEE 2016	(株)都村製作所
第3回沖縄大交易会	(株)テレフォース
インテリアライフスタイルリビング 2016	西野金陵(株)
第83回東京インターナショナルギフトショー LIFE×DESIGN	(株)二宮石材 他4社
	福田手袋(株)
統合医療展 2017	(株)レガン
第45回 国際ホテル・レストランショー	(株)ホーコーエン
第12回こだわり食品フェア 2017	(株)ボープロジェクト
第1回関西次世代農業 EXPO	(同)藻塩工房
	徳壽工業(株) 【廃止】

⑤ 地域企業海外販路開拓支援事業

県内中小企業者等に対して、海外で開催される見本市への出展の支援を行った。

【新規採択 14 件（うち廃止 1 件）、助成額 11,550 千円】

テーマ	事業者
Maison & Objet 2017.1（1月 フランス・パリ）	(株)スリーキューブ
IFAT 2016（5月 ドイツ・ミュンヘン）	(株)ソルエース
2016 中国国際浄化商品展示会（7月 中国・上海市）	(株)長峰製作所
BIJORHCA（ビジョルカ）展（9月 フランス・パリ）	(株)松なみ
中国廈門国際佛事用品（秋季）展示会（10月 中国・廈門市）	(株)岩佐佛喜堂
Gulfood2017（2月 UAE・ドバイ）	(株)アライオリーブ
WHITE MILANO（2月 イタリア・ミラノ）	福田手袋(株)
Ambiente（2月 ドイツ・フランクフルト）	(株)フクシン
CAPSULE SHOW NEWYORK（2月 アメリカ・ニューヨーク）	サングローブ(株)
Maison & Objet 2017.1（1月 フランス・パリ）	ヨークス(株)
Maison & Objet 2017.1（1月 フランス・パリ）	hacomo(株)
PREMIERE CLASSE（3月 フランス・パリ）	(株)レガン
Maison & Objet 2017.1（1月 フランス・パリ）	(株)ボープロジェクト
EUROBIKE（8月 ドイツ・フリースドルヒスハーフェン）	サングローブ(株) 【廃止】

⑥ ものづくり産業スキルアップ助成事業

ものづくり産業人材の育成を図るため、製造に携わる者を対象とした、製造技術・技能の向上に資するもので、県内中小企業者等が実施する人材育成研修会開催事業（自ら開催する人材育成研修）や人材育成研修派遣事業（人材育成を目的に開催される研修会へ職員等を派遣）に対して支援を行った。

【新規採択 3 件、助成額 2,449 千円】

テーマ	事業者
溶接マイスターによる若手技術者育成の取り組み	(株)香西鉄工所
若手従業員のスキルアップ計画	(株)サンテック
表面処理マイスター(高度熟練技能者)養成プロジェクト	(株)ユーミック

⑦ ものづくり産業生産性向上支援事業

製造現場におけるコスト削減やISO9001などの認証取得を目的として、専門コンサルタントを活用して製造現場の改善を行う事業や、それに付随して行う研修事業に対して支援を行った。

【新規採択 6 件、助成額 10,639 千円】

テーマ	事業者
ISO9001 の認証を取得し、品質及び生産性の改善を図り、顧客満足向上と当社の発展を期す。	川崎化工(株)
リードタイム短縮を基軸とした生産性向上による生産革新	四国化工(株)
効率良い仕事をするための 3S 活動への取り組み	(株)スワキャンバス
ISO9001:2015 が求めるマネジメントシステムを構築することで“黒ゴマペースト”の品質、生産性、及び安全性の向上を目指す	千金丹ケアーズ(株)
ISO9001 が要求するマネジメントシステムの構築によって品質、安全性、生産性を高める。	創麺屋(株)
生産管理システムの再構築による工数削減と生産性向上	(株)マキタ

⑧ 特定地場産業活性化ブランド確立支援事業

県が選定した29業種の地場産業の組合又は単独企業等が取り組む、地場産品等のブランドを確立するための商品・デザイン開発、商品の情報発信の事業に対して支援を行った。

ア 継続 【2件、助成額1,679千円】

テーマ	事業者
オリーブ家具プロジェクト	香川県家具商工業協同組合
瀬戸内の魚を使った練り製品および、魚介類を使った食品のブランド化事業	(有)熊野蒲鉾店

イ 新規採択 【5件、助成額8,411千円】

テーマ	事業者
海外戦略商品「鮭節だし醤油」の作成	鎌田商事(株)
香川漆器を和モダンテーブルウェアなどとして販売するためのブランディング事業	(株)川口屋漆器店
地元産魚種を用いた惣菜「瀬戸のめぐみ」のブランド確立	(株)キョーワ
香川の縫製技術を活用した男性用革製品ブランドの確立事業	生新(株)
手袋の製造技術を活用した、新たなライフスタイル服飾雑貨ブランド化事業	(株)フクシン

⑨ 経営革新支援事業

知事の承認をうけた経営革新計画の事業に要する経費を助成し、創意工夫ある新事業展開の促進を支援した。

【新規採択5件、助成額8,018千円】

テーマ	事業者
生産プロセス強化のための生産管理システムの開発	(株)シンキ製作所
『大工育成塾』を中心とした次世代の住宅建設の担い手育成計画	(株)ダイエイハウス
多様なニーズに適応したワンストップータル生活サポートサービス	ハウス美装工業(株)
高付加価値(美粧・機能性)ダンボールケースの開発及び販売	富士ダンボール工業(株)
いきいき高齢者おでかけ支援シルバーサポートタクシー(SST)事業	平成レッグス(株)

⑩ 創業ベンチャー・地域密着型ビジネス支援事業

【創業ベンチャー、コミュニティ・ビジネス】

新規性や独創性のある先駆的な事業やコミュニティ・ビジネスなどの地域に密着した先駆的な事業の開始に対して支援を行った。

【新規採択5件、助成額10,157千円】

テーマ	事業者
お遍路さん巡礼お助けサービス(宿泊・観光ガイドマッチング、情報提供の一元化)	(株)四国遍路
香川のものづくり企業と観光資源を活かした香川ブランドの確立	tsu_ta_e_ru
超微細化技術を用いた機能性食品の開発と新しい地域産業の創生	(株)TAGC
集客力UPのための観光案内本と自社アプリ開発事業	Traditional Apartment
オリーブ車海老の開発、生産、販売による差別化した事業展開	仁尾産商(株)

【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2015最優秀賞認定事業】

創造的な技術や商品、サービスなどを自ら新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを支援するために実施する「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ」最優秀賞受賞者の事業に要する経費を助成した。

【新規採択1件、助成額1,223千円】

テーマ	事業者
新水圧技術(ADS)を用いた、次世代の駆動装置の研究・開発・製造 「一般家庭住宅向け用のコンパクト型入浴装置開発」	(株)ADSムラカミ

2. 産業支援機関事業（財団直営事業を含む。）の状況

① 職業能力育成支援事業

分野	実施講座数	受講者数（延べ）
香川県職業能力開発協会	23	704名

② 高度技術人材育成事業

団体名	実施講座数	受講者数（延べ）
I T 技術研修	14	219名
次世代ものづくり技術研修	5	74名
食品製造技術研修	4	89名
環境、安全・安心技術研修	1	70名

③ 地域企業国内販路開拓支援事業

事業名	実績	件数等
緊急的受注開拓促進事業	東京、大阪、広島に発注開拓コーディネーターを配置し、首都圏、関西圏、中国圏の発注企業訪問による発注開拓を行い、発注案件や情報収集の発掘を行った。 ・企業訪問件数 延べ278件 ・あっせん件数 91件 ・ビジネス情報交換会 1回	278件
かがわものづくり新技術展示商談会開催事業	県内の企業や研究機関等が有する優れたものづくり技術・製品等をPRするため、県外大手メーカーに対して一堂に展示し、商談会を通じて本県企業の新規取引先の開拓と受注機会の拡大を図った。 【(株)東芝府中事業所提案商談会】 日時：平成28年9月2日 10時～15時 場所：(株)東芝 府中事業所（東京都府中市） 参加者数：県内企業13社 来場者数：123名 商談件数：257件 【(株)クボタ展示商談会】 日時：平成28年11月18日 11時～16時 場所：(株)クボタ 堺製造所（大阪府堺市）	2回

	参加者数：県内企業 28 社 来場者数：406 名 商談件数：887 件	
食品商談会開催事業	【食品商談会】 大都市圏等県外の食品関連バイヤー、及び県内の食品関連バイヤーを招聘し、県内食品事業者との商談会を開催した。 ・日 時 平成 28 年 9 月 13 日 ・場 所 ホテルクレメント高松 ・招聘バイヤー 60 社【百貨店、総合スーパー他】 ・参加企業 89 社 ・商談件数 658 件、商談成約見込 151 件 - 商談継続 426 件	1 回
食品見本市出展事業	香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー 2017」において、香川県ブース(22 小間)を出展した。 ・日 時 平成 29 年 2 月 15 日～17 日 ・場 所 幕張メッセ全館 ・参加企業 40 社 ・商談件数 4, 144 件、商談成約見込件数 277 件 ・商談成約見込額 33, 750 千円、商談継続件数 2, 072 件	1 回
新商品開発事業	百貨店等バイヤーの協力のもと、県外でも高い競争力を有する商品開発等を支援した。 ①首都圏百貨店向け商品開発支援 ○講演会 ・日時 平成 28 年 6 月 16 日 14 時～15 時 ・場所 香川産業頭脳化センタービル 2 階一般研修室 ・講師 ㈱三越伊勢丹 食品統括部食品第一商品部 部長 大野真人氏 「首都圏百貨店の求める商品とは」 ・参加事業者 57 社(74 名) ○商品づくり支援 ・支援事業者 6 社 ②首都圏における新商品等の試験販売支援 ・日時 平成 28 年 5 月 20 日～22 日 平成 28 年 6 月 24 日～26 日 ・場所 AKOMEYA TOKYO NEWoMan 新宿 ・参加事業者数 15 社	2 件

④ 地域企業海外販路開拓支援事業

事業名	内 容	件 数 等
国際取引支援アドバイザー設置	国際取引支援アドバイザーを設置し、相談会の開催等により、県内企業の国際取引相談に対応するとともに、課題・ニーズの把握を行った。	個別相談 37件
「かがわ海外ビジネス支援総合サイト」の運営	財団 HP 内に開設している海外ビジネス専用サイトを活用し、各支援機関の海外ビジネス支援に関する情報を一元化して発信することにより、県内企業の海外展開の支援を行った。	主な内容 新着情報、財団事業、香川県上海ビジネス展開支援事業、海外ビジネス情報、中国 NAVI 他

⑤ 新規発掘・事業化コーディネート事業

専任コーディネーター等を配置し、積極的な中小企業回りを通じて、新たなシーズの発掘や事業化の支援、事業終了後のフォローアップ、成果検証等を行った。

⑥ 新商品発表会及び成果事例集作成

かがわ中小企業応援ファンド事業及びかがわ農商工連携ファンド事業の事業成果を広く公開するため、新商品発表会を開催し、助成事業者による研究成果や事業展開などの発表に加え、成果品の展示等を行った。

また、平成27年度の助成事業の中から優良事例を選定し、成果事例集としてとりまとめた。

VI かがわ農商工連携基金を活用した農商工連携推進のための事業

1. かがわ農商工連携ファンド事業

23,673千円

(独) 中小企業基盤整備機構、県及び金融機関等が資金を拠出した総額28億円の「かがわ農商工連携基金」を活用して、農林漁業者と中小企業者が連携して取り組む新商品や新サービスの開発、販路開拓などを支援した。

(1) 農商工連携事業（助成金事業）

① 新規〔7件、1,389千円〕

○新商品等開発支援事業

テーマ	連携体
ズイナを活用した大福などの“健康によいスイーツ”の開発と販路開拓	サヌキ結願亭(株) ズイナ栽培研究会
アスパラガスの未利用資源をはじめ、旬の県産野菜を活用した練り製品の開発と販路開拓	山地蒲鉾(株) あすばら屋しげ

里山保全の捕獲イノシシを活用した革製品の開発と販路開拓	round. 五色の里
四海漁港で水揚げされたハモを活用したそばろ煮など加工食品の開発・製造・販売	タケサンフーズ(株) 四海漁業協同組合
県内若手農業者による「生産・流通・販売」の新たなしくみづくりと販路開拓	立石商事(株) 高橋農園
香川県産養殖海苔を用いた半生拉麺の商品開発と販路開拓	麵処 希信 浜谷水産

○販売力強化・ブランド化支援事業

テーマ	連携体
洋菊「ディスパッドマム」と日本酒のギフト商材におけるブランド化と販路開拓	三芳菊酒造(株) (株)ファルチェ

② 継続〔6件、12,709千円〕

○新商品等開発支援事業

テーマ	連携体
特産品土産としてのミニオリーブ盆栽の商品開発と販路開拓	pensée(パンセ) 小豆島岬工房 花澤明春園
さぬきのフルーツを使ったプレミアムスイーツの開発と販路拡充	(株)ノムラ (株)小西松楽園
「まんのうひまわり牛」を活用したカレー・シチュー等の製品開発と販路開拓	(有)西内花月堂 (有)鎌田牧場
県産あんず等の地域資源を活用したこだわり鶏肉加工食品の開発と販路開拓	(株)サクマ 讃岐国分寺あんず工房竹本
大野豆（讃岐長莢そら豆）の復活と生産体制の構築、並びに豆菓子等の新商品の開発と販路開拓	(有)筒井製菓 大野豆プロジェクト
ブロッコリー等地元野菜を使った新たな漬物開発と販路開拓	瀬戸内食品(株) 華と野菜のさぬきや

(2) 農商工連携支援事業

農商工連携を支援するために財団が実施する事業

事業内容	事業費
新商品発表会、求評モニターによる試食会の開催、首都圏での試験販売・見本市出展支援、農商工連携コーディネーターによる連携体に対する事業計画のブラッシュアップや商品化に向けたフォローアップを実施した。	6,598千円

収益事業

1. 産業会館事務室提供事業

2,730千円

産業会館5階に所有するスペースを、公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会、一般財団法人消防試験研究センター香川県支部及び香川県中小企業団体中央会に対し、賃貸した。

その他の事業（相互扶助等事業）

1. 異業種交流事業

2,532千円

(1) かがわ産業振興クラブ運営事業

講演会や企業見学会を開催するとともに、機関誌、メルマガ等により産業情報の提供を行った。

事業内容	開催日	参加人数
講演会	平成28年 7月25日	82名
県外企業見学会	平成28年11月28日	28名
知事との意見交換会	平成28年12月19日	53名

(2) 異業種交流等への支援

各種団体の事務局として当該団体の活動を支援した。

団体名	団体概要	活動内容
香川マルチメディア ビジネスフォーラム (会員数37)	ITを活用した経営の向上や新たなビジネスの創出を図るとともに、会員企業の交流を促進し、本県産業の振興に寄与することを目的として設立された団体	○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 等
香川県デザイン協会 (会員数107)	県内におけるデザイン振興の中核として、優れたデザインが生み出される環境づくりや、産業界等との連携による産業及び地域文化の発展を図るため、県内デザイナー等により設立された団体	○デザイン展覧会 ○デザイナーズ・フリーマーケット ○講演会 ○視察研修 ○総会、交流会 ○会報発行 等
さぬきプラザ21 (会員数 24)	技術・市場関連の問題等に関する意見・情報の交換により、会員企業の技術及び経営力の向上を図るため、県内企業で構成された異業種交流の団体	○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 ○会員間の情報交換 等
かがわプラザ2004 (会員数 39)		
J S研究会 (会員数37)	県内中小企業の自立化推進や人材育成・経営基盤の強化等を研究するため、県内のものづくり系企業で組織された団体	○講演会 ○見学会 ○人材育成研修 ○総会、交流会 等
香川インテリジェントパーク 交流推進協議会 (会員数 32)	香川インテリジェントパーク(KIP)に立地する企業や団体等の理解、交流及び情報交換を推進し、相互の技術、経営及び学術、文化の向上を図るために設立された団体	○総会 ○香川インテリジェントパークの環境整備(一斉清掃) ○献血 等

2. 香川県発明協会事務運営事業

1,045千円

一般社団法人香川県発明協会の事務運営業務を受託した。

法人会計

1. 一般管理運営事業

71,218千円

財団運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により財団事業の円滑実施に努めた。

[評議員会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第19回評議員会	平成28年5月20日	持ち回り	1「評議員の選任について」 2「理事の選任について」
第20回評議員会	平成28年6月27日	高松国際ホテル	1「評議員の選任について」
第21回評議員会	平成28年7月25日	持ち回り	1「監事の選任について」

[理事会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第92回理事会	平成28年4月1日	持ち回り	1「理事長（代表理事）辞任に伴う後任理事長（代表理事）選定について」
第93回理事会	平成28年6月2日	高松国際ホテル	1「平成27年度事業報告及び収支決算について」 2「平成27年度資金運用実績について」 3「平成28年度収支補正予算について」 4「情報公開規程の一部改正について」 5「資金運用指針の一部改正について」 6「評議員会の招集について」
第94回理事会	平成29年2月16日	持ち回り	1「基金の一部取崩について」
第95回理事会	平成29年3月7日	香川産業頭脳化センタービル1階第1会議室	1「平成28年度収支補正予算について」 2「平成29年度資金運用計画について」 3「平成29年度事業計画及び収支予算について」 4「常勤理事の報酬について」

(参 考)

1. 香川らしい国際協力プロジェクト「ラオスうちわ産業振興支援プログラム（フェーズ2）」の実施

ラオス人民民主共和国ビエンチャン県バンビエン郡等の周辺地域農民のうちわ生産技術の習得と生計向上を図るため、香川県が独立行政法人国際協力機構（JICA）における、「JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）」の提案団体となり、FUNFAN実行委員会（当財団を含む）がその実施団体となって事業を実施するものである。

(1) 事業主体：FUNFAN実行委員会

香川県、香川県うちわ協同組合連合会、香川県デザイン協会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（香川地区）、丸亀市、公益財団法人かがわ産業支援財団

(2) 事業期間：平成28年2月～平成30年12月

(3) 相手国協力対象機関：農林省森林局農林研修センター

(4) 事業内容：平成28年4月、8月、10月、平成29年1月、2月に、うちわ職人及びデザイナー等の専門家を現地へ派遣し、うちわ製作技術研修を実施するとともに、販路拡大に向けた支援等を行った。また、平成28年9月にはラオス研修員4名を受け入れた。

(5) 平成28年度実績額：約17,869千円